

目次

地震災害

想定地震

長野県では、平成 25 年度から 26 年度に、県内に大きな被害を発生させる地震についての被害想定調査を行いました。

被害想定調査では、内陸型地震として、活断層帯による8つの地震を想定しています。

糸魚川－静岡構造線断層帯は、日本で最大級の活断層であり、長野県北部から山梨県南部にかけて延びています。

今回の調査では、断層帯全体が同時に活動した場合、北側が活動した場合、南側が活動した場合の3パターンを想定しています。

原村に最も大きな影響を与えるのは、「糸魚川－静岡構造線断層帯の地震（南側）」です。



想定した主要活断層帯の地震の震源断層モデルと主要活断層帯の位置図『長野県地震対策基礎調査』（平成 27 年 3 月）を参考に作成

<糸魚川－静岡構造線断層帯の地震（南側）>

- ・規模：マグニチュード7. 9
- ・諏訪地域、上伊那地域東部を中心に震度6強以上の揺れ
- ・液状化や土砂災害が多数発生

揺れやすさマップ

揺れの大きさは、

◆震源からの距離によって変わる

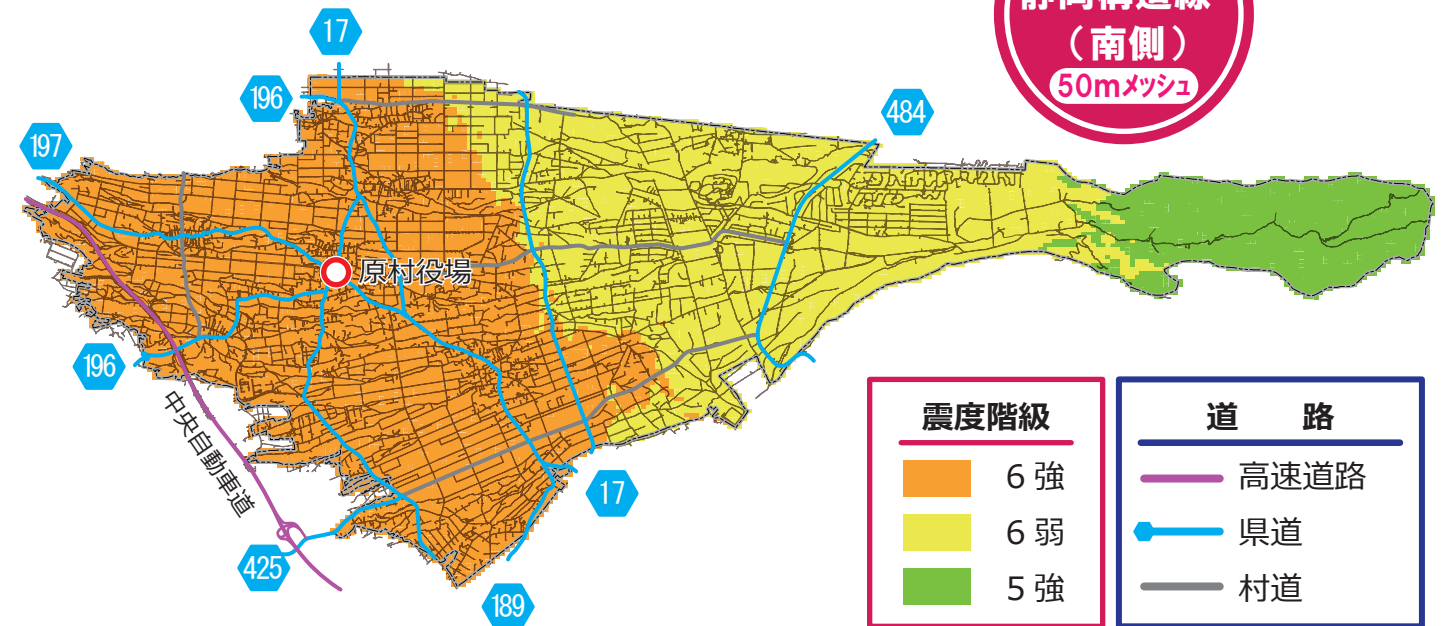
震源から地表付近までの距離が近いほど、揺れは大きくなる傾向があります。

◆地盤の硬さによって変わる

硬い地盤では揺れにくく、軟弱地盤では揺れやすい傾向があります。



糸魚川－静岡構造線（南側）50mメッシュ



震度と予想される状況

気象庁震度階級関連解説表を参考に作成

	屋内の状況	屋外の状況
震度6強	立っていることができず、はわな いと動くことができない。 固定していない家具のほとんどが 移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、 落下する建物が多くなる。 補強されていないブロック塀の ほとんどが崩れる。
震度6弱	立っていることが困難になる。 固定していない家具の大半が移動 し、倒れるものもある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、 落下することがある。
震度5強	大半の人が、物につかまらな いと歩くことが難しいと感じる。 棚にある食器類や書棚の本で、落 ちるものが増える。	窓ガラスが割れて落ちることがある。 補強されていないブロック塀が崩れる ことがある。据付けが不十分な自動販 売機が倒れることがある。自動車の運 転が困難となり、停止する車もある。